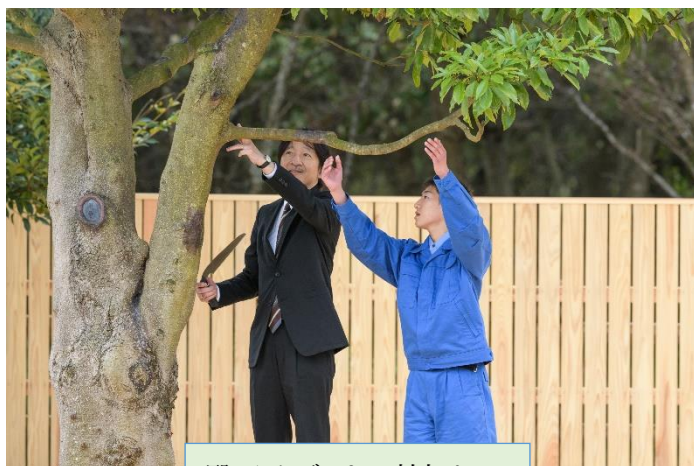




11/11(土)、12日(日) 第46回全国育樹祭開催

森を守り育てる大切さを呼びかける「全国育樹祭」が11日から茨城県で行われ、秋篠宮ご夫妻がかつて上皇ご夫妻の植えられたタブノキとヤマボウシの木を手入れしました。初日の11日は潮来市にある「茨城県水郷県民の森」で本校から1AF 益子侑大さん、辰巳結さん、2iA 鈴木里子さん、3AF 菊池晴将さんが参加。秋篠宮ご夫妻のお手入れ（枝打ち・施肥）行事を益子侑大さん、辰巳結さんが手伝いました。



殿下:タブノキの枝打ち



妃殿下:ヤマボウシへ施肥

枝打ちで殿下から「どこを切るとういいますか」、交流の場では妃殿下から「学校頑張ってください」と励ましの言葉をいただきました。また、宮下農林水産大臣と鈴木里子さん、また大井川茨城県知事と菊池晴将さんが同会場で施肥を手伝いました。12日の式典行事にも参加し、生徒たちにとって一生の思い出となりました。



宮下農林水産大臣:施肥



大井川県知事:施肥

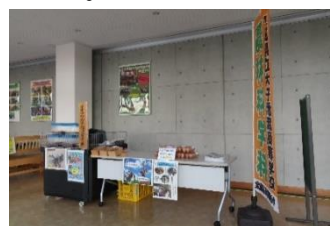


農林科学科製作
木製ドローン

式典の外に農林科学科の生徒が半年間かけて製作したヒノキ材による木製ドローンを設置しました。手動で回るプロペラを回転させるように足をとめたり、記念撮影をしたりする様子が多く見受けられました。ブースも設けて、本校のPRにも繋がりました。

11/11(土) 育林交流集会

「全国育樹祭」の併催行事として、太子町文化福祉会館「まいん」において育林交流会を開催しました。全国から参加者を集い、森林への関心を高め、これからの森林づくりについての事例報告を行いました。本校生徒が優良事例報告の司会、運営スタッフに参加。全国から来場される名簿を見て日程の説明等をしっかりと伝えていました。事例報告の発表の司会進行でも緊張感ある中、しっかりと進行をしました。



11/14（火）原木伐採（3F）

本校に隣接する山林で午前中、3Fの生徒が広葉樹（コナラ・クヌギ・サクラ）の伐採を行いました。3年間の集大成、山に入っただけの実習は最後です。当日は気温も低く体も冷え生徒たちは緊張した様子でしたが、山に入ると真剣な眼差しで汗をかきながら実習に取り組んでいる姿が印象的でした。

伐倒した木が他の木にひっかかって（かかり木）、思うように倒れないこともありましたが、特殊な道具やロープを使用し無事に予定通りの本数を伐採できました。ケガもなく実習を終えることが出来ました。

今後1、2年生が玉切りと搬出、植菌をし、来秋にはシイタケやなめこが収穫できます。



11/16（木）服のチカラプロジェクト衣類梱包

ユニクロ、ジーユーが行っている不要になった子ども服を難民へ届ける“届けよう、服のチカラ”プロジェクトに参加しており、10月上旬より子ども服の回収を、本校のみならず近隣の幼稚園、保育園にも協力を依頼してきました。当日JRC部と福祉委員会が、集まった子ども服の衣類をサイズごとに分け衣類の梱包を行いました。プロジェクトの趣旨をしっかりと理解しており、主体的に活動して

いるのが印象的でした。この活動を通してSDGsや世界平和、ボランティアについても考え、学ぶことができました。



“届けよう、服のチカラ”プロジェクト事務局へ送りました。

11/20（月）防災避難訓練

地震と火災の発生を想定した避難訓練を行いました。当日は風が強かったため水消火器を使用。日本防災職員にしっかりと教わりながら消火活動を行いました。防災の意識をこれからも持っていきたいです。



12/1（金）生徒会役員選挙・立会演説会

任期満了にともない、生徒会役員選挙が行われました。立会演説会では、責任者に紹介された立候補者が、堂々と自分の施政方針を訴えていました。その姿から、清流高校生徒会の更なる発展が期待されます。

